

キャリアを理解する

1 キャリアは自分のもの

Point



働くという経験を通して、さまざまな知識やスキルを積み重ねていくことができます。過去から現在そして未来に渡って時間の経過とともに継続的な成長を遂げていくことをキャリアと呼びます。他人と比べる必要のない自分だけの大切なキャリアです。

(1) キャリアとは何か

「キャリアアップしたい」「キャリアに傷が付いた」などという表現をしばしば耳にすることがあります。また、国家公務員試験Ⅰ種に合格して中央官庁に就職した人のことを「キャリア組」と呼ぶこともあります。これらは、キャリアを限定的にとらえた結果で、経歴・立場・資格などと直結させた考え方によるものです。

本来キャリアとは、長い時間をかけて職業経験を積むことによって、成長を続けていく生き方のことを意味します。一人ひとりが、それぞれ仕事することによって、新しい知識やスキルを身に付けたり、さまざまな人との出会いによって刺激を受けながら、対人対応力を高める機会を得るなど能力面での成長も含んでいます。

働くということを通して、いろいろな経験することにより、学び・発見・気づきなどから自己成長につなげることが可能となるわけです。したがってキャリアにはアップもダウンもなく、私たちはそれぞれ異なる独自のキャリアを作りながら生きているといえます。

国としてもキャリアの重要性に着目して、さまざまなキャリア教育の支援に取り組んでいます。文部科学省では「将来、社会的・職業的に自立して社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現させるための力」とキャリアを位置付けています。多くの小中学校・高校などで、地域や企業と連携しながら職業体験をさせたり、社会人からの話を聞く機会を設けるなど、